

労働安全衛生／防災

2022年1月に起こした死亡事故を真摯に反省し、あらゆる事業活動において、安全・防災を最優先課題として取り組みます。協賛会社員も含め当社事業所内で業務に従事するあらゆる者の安全と健康を守り、無事故・無災害操業を継続していきます。

■ 本質的な安全の向上に向けて

2022年1月に起こした死亡事故を受け発足した事故対策委員会が原因究明等を行うとともに、工場、研究所で本件事故と同様の事故が発生する危険性を総点検し、対策を講じました。継続して安全対策への投資を進めていきます。また、安全意識の改革を含む本質的な安全の向上に向けた取り組みを進めています。2022年12月にグループ一丸となって取り組むため、グループ安全理念、グループ安全方針を制定しました。中計2025においても重点施策を定めており、今後も確実に取り組んでいきます。

■ 安全文化の醸成

各工場の環境保安部と全社安全推進部を統合し、環境保安部全社安全推進グループとして安全意識の改革とさまざまな施策を深化・拡充し、安全文化の醸成を図っていきます。

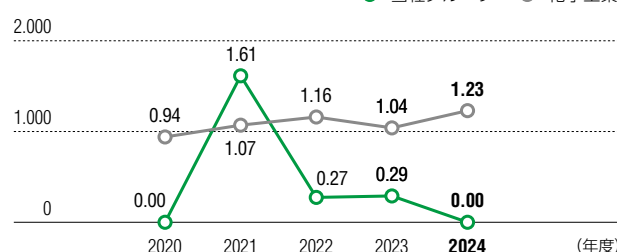
■ 労働災害の状況

労働災害ゼロの達成に向け、リスクアセスメント、相互に注意しあう職場風土、再発防止策の徹底、より安全な職場環境の達成を主なテーマに活動しています。

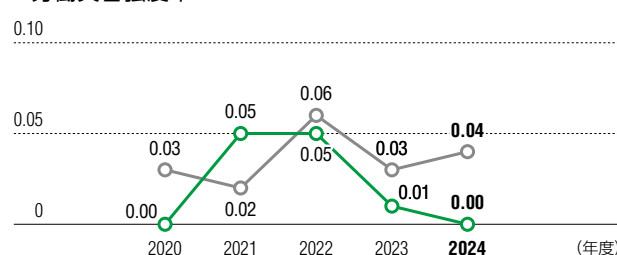
2024年度は、従業員の休業災害1件・不休災害5件の他、派遣社員・協賛会社員の休業災害1件・不休災害2件が発生しました。

それぞれの発生案件については、なぜなぜ解析※1の手法を使って真の原因を究明し再発防止策を打つとともに、重要な対策については国内外全グループ工場に水平展開しました。

▶ 労働災害度数率※2



▶ 労働災害強度率※3



※1 なぜなぜ解析：ある問題に対してなぜそれが起きたのか原因を見極め、さらにその原因に対して「なぜ？」を問うことを繰り返し、直接原因だけではなく背後にある根本原因を抽出する分析手法

※2 度数率＝(休業災害被災者数)÷(延べ労働時間)×1,000,000
100万労働時間当たりの被災者(当社グループ従業員)の発生頻度を示す数値

※3 強度率＝(労働損失日数)÷(延べ労働時間)×1,000
1,000労働時間当たりの災害の軽重を示す数値

■ 2024年度の取り組み

当社グループでは工場、研究所で取り扱う対象化学物質について、計画的にリスクアセスメントを実施し、必要なリスク軽減策をとっています。

従来からハード対策や規則類の制定を行ってきましたが、2024年度からは社外の有識者を交えた生産部門の課題解決に取り組んでいます。リスクアセスメント強化のため、適切なリスク抽出と低減策の立案ができる人財の育成に長期的に取り組む、生産現場の保安力向上を図っています。

2024年度はプロセスリスクアセスメントスキルの向上を目的に、製造現場の管理者を対象とする研修を実施しました。今後も対象者を広げ継続的にリスクアセスメント研修を実施します。